

平成23年度 第1回富津市介護保険運営協議会会議

会議録

日時：平成23年10月24日（月）

午前9時30分～午前10時15分

会場：本庁502会議室

次 第

1. 開 会
2. 部長あいさつ
3. 委員紹介
4. 議 題
 - (1) 会長・副会長の互選について
 - (2) 高齢者保険福祉計画策定に伴う実態調査報告について
 - (3) 指定介護予防支援業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について
5. 閉 会

配付資料

- ・ 第1回富津市介護保険運営協議会会議 次第
- ・ 介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定に伴う実態調査結果報告書
- ・ 指定介護予防業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について

出席者（敬称略）

○委員

佐久間、古堀、本間、和泉、小柴、磯部、澤辺、藤野

○事務局

吉原部長、藤江課長、齋藤係長、一河（地域包括支援センター長）

㈱サーベイリサーチセンター 若菜

1. 開 会

事務局・・・ただ今より平成23年度第1回富津市介護保険運営協議会を開会いたします。

規定により出席者は過半数以上により会議は成立いたします。

本日の会議は、お手元に配布されている会議次第に沿って進めさせていただきます。

2. 部長あいさつ

部 長・・・本日は 多忙の中、第1回富津市介護保険運営協議会にご出席いただき感謝いたします。

また、日頃より介護保険事業の運営にご理解、ご協力いただき重ねて感謝いたします。

富津市の第四期介護福祉計画は、平成 23 年度で終了するため、現在、平成 24～26 年度までの第五期介護福祉計画の策定に入っています。本日配布したアンケート調査結果を参考資料とし、特に重要なポイントとなる保険料についても今後、検討していくことになります。介護報酬が 2009 年度に 3%引き上げられてから、介護サービス施設等、事業所の経営状態が 3 年前に比べ非常に改善されていることが、今日の新聞で公表されています。次期計画でも保険料が大きく影響してくるが、今後の介護報酬の改定等があれば、当然、引き上げられることが見込まれるという中で、この運営協議会を進めていただきます。本日の議題は、お手元に配布した通り、「(1)会長・副会長の互選」、「(2)高齢者保険福祉計画策定に伴う実態調査報告について」、「(3)指定介護予防支援業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について」であります。委員の皆様のご意見、ご指導をいただきながらスムーズな介護保険事業の運営に務めていきたいと思ひます。

3. 委員紹介

事務局・・・各委員より自己紹介をお願いいたします。

佐久間・・・市議会より選出の佐久間です。今回初めて介護に関わることになりました。自分も将来、行く道であるため、介護しやすい、介護されやすい市にしていく必要があると考えています。

古堀・・・介護老人保健施設総師長の古堀です。今回初めてこのような会議に参加するので、何 1 つわからないことだらけです。皆様にご指導いただきながら、任期を務めていきたいと思ひています。

本間・・・社会福祉法人「あたご会」の理事長を務めている本間です。今の仕事は、市内高宕山の方で特養と竹岡の養護老人ホームの管理をしています。

和泉・・・上総湊の方で接骨院と居宅介護支援事業所を管理している和泉です。皆様と協力していきたいと思ひます。

小柴・・・民生委員の代表を務めている小柴です。介護保険については、実際に独り暮らしの方への見回り等をしていて、様々なケースに直面することもある。可能な限りのお話を聞き、発言していきたいと思ひます。

磯部・・・6 月より富津市の社会福祉協議会の会長を務めている磯部である。私はまだ介護について良くわからないことが多い。皆様にご協力いただき、市の福祉行政が向上するようにしていきたいと思ひます。

澤辺・・・社会福祉協議会の中にある「介護家族の会」に所属している澤辺です。今、だいぶ老人ホーム等のデイサービスが充実して楽に介護できるようになった。介護している方々がリラックスできるようにする会であり、この会議に参加できるだけで有難いと思ひます。いろいろと勉強していきたいと思ひます。

○事務局の紹介 吉原部長、藤江課長、斎藤係長、一河地域包括支援センター長、サーベイリサーチセンター若菜

事務局・・・会長が決まるまでの仮議長を吉原部長にお願いします。

部長・・・会長が決まるまで私が仮議長を務めます。

最初に議事録署名人ですが、小柴委員と磯部委員にお願いします。

4. 議 題

(1) 会長・副会長の互選について

部 長・・・会長の互選についてだが、自選、他選があればお願いします。

佐久間・・・執行部の意見はありますか。

部 長・・・佐久間委員より執行部の意見をとということで発表してもらいます。

事務局・・・会長は佐久間委員にお願いしたいと思います。

部 長・・・執行部より会長は佐久間委員という意見があったがどうでしょうか。

(全員 異議なし)

会長を佐久間委員にお願いいたします。

次に副会長ですが、執行部よりご意見をお願いします。

事務局・・・副会長は認定審査会の会長である東委員にお願いしたいと思います。

部 長・・・執行部より副会長に東委員という意見がありましたらどうでしょうか。

(全員 異議なし)

副会長は、東委員にお願いいたします。

最初に佐久間会長よりあいさつをいただき、続いて議題(2)、(3)を進行していただきたいと思います。

会 長・・・只今、突然のご指名をいただき会長を務めることになった佐久間です。未熟ですがよろしくをお願いします。

(2) 高齢者保険福祉計画策定に伴う実態調査報告について

○事務局より事前に配付した「介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定に伴う実態調査結果報告書」に沿って説明。

事務局・・・3 ページをご覧ください。アンケート調査の対象者は、住民基本台帳からの任意の抽出で、一般高齢者、一般若年者、居宅サービス利用者、サービス未利用者、施設サービス利用者の併せて 4,170 人、市内近隣の給付実績のある介護保険サービス提供者 141 事業所を併せて 4,311 人にアンケートを郵送により配布して、回収しました。回収率は、64.9%です。前回、平成 20 年 3 月に実施した調査は、調査対象者 5,981 人、回収率 52.08%で、今回の方が回収率は良かった。65 歳以上の調査の結果として、性別・年齢・住居地域・世帯住居については特段と変わりはありません。介護認定を受けていない一般高齢者の各種サービスの制度の認知については、介護予防型のショートステイや給食サービスが多いです。利用しているサービスは、給食サービスやはり・マッサージの助成が多く利用があります。利用続けたいサービスも同じく、はり・マッサージ、通所介護予防、デイサービスが上位を占め利用の意向があります。21 ページ、問 18「もし、あなたが介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。」については、「介護保険サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」を合わせて 90%以上になっています。22 ページ、問 19 の保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどで、サービスの量も見合ったものにすべきである」が、「保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである」を上回っています。23 ページ、問 20 の介護保険制度の周知については、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が

65.1%を占めています。現在、65歳になった方には、作成したパンフレットを郵送したり、市の広報や出前講座等により周知しておりますが、今後も周知については続けていきます。25 ページ、問 22「介護保険制度全般についてどのように思いますか」については、「おおむね良い制度である」、「どちらかといえば良い制度である」が全体の 51.8%を占めています。介護保険制度の良くない点は、「制度がわかりにくい」、「介護保険料の負担が大きい」という意見が大半を占めています。32 ページ、問 32 は地域包括支援センターの認知状況についてで、「あまり良く知らない」と「全く知らない」が全体の 75%を占めています。今後、地域包括支援センターの周知については、更に一層周知するよう心がけたいと思います。次に 40～60 歳までが対象のアンケート調査結果です。41 ページ、問 5 の健康保険の種類については、前回平成 20 年 3 月に実施した調査では、「国民健康保険」が 64.7%でしたが、今回は 38.6%でした。代わりに「社会保険」が前回の 34%から 60.1%になりました。社会保険というのは、会社員、公務員または市職員のことであり、前回よりも割合としては伸びています。43 ページ、問 8「将来、あなたに介護が必要になった場合、どこで生活をしたいですか。」については、「介護保険サービスを利用しながら、自宅で生活したい」と「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が併せて 67.1%、「老人ホームや病院などに入所したい」が 28.1%となっている。46 ページ、問 11 の介護保険の 1 割負担については、「普通」が半数を占め、「やや高い」と「高い」が 27.4%です。次に居宅サービス利用者に属する調査結果についてです。73 ページ、問 7 の介護保険認定の結果については、「納得している」と「おおむね納得している」が 78.6%でした。74 ページ、問 8 の訪問調査の内容については、「納得している」と「おおむね納得している」が、併せて 78.8%でした。「やや不満」と「不満」の方の不満内容は、「聞かれて質問内容では本人の状態を説明するのがむずかしいから」と「調査時に本人が緊張して、いつもと違う状態で調査が行われたから」が大きな割合を占めています。問 9～10 については、ケアプランやケアマネジャーについての質問ですが、概ね良好でした。84 ページ、問 18 の 65 歳以上の方に伺った保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどで、サービスの量に見合ったものにすべきである」が「保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである」を上回っています。86 ページ、今後の過ごし方についてですが、「介護保険を利用して、自宅で生活したい」と「自宅で家族に介護してもらいたい」が 70.9%を占めており、「できるだけ自宅で家族に介護してもらいたい」という希望が多くあります。87 ページ、問 21 の在宅生活を続けるために必要なこととして、「自分自身の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」、「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」、「介護に関する費用が増えないこと」が上位に挙げられています。92 ページ、問 30 の介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方については、「家族の介護負担を減らすための対策やしくみをつくること」、「納得ができる公平な認定結果が出ること」、「施設の増設等の希望」等がありました。次にサービス未利用者に関する調査結果である。80 歳以上の回答者が 53.9%と大半を占めています。105 ページ、問 7 の要介護認定結果については、「納得している」と「おおむね納得している」が 72.9%となっています。107 ページ、問 9 の現在、居宅サービスを利用していない理由につい

ては、「自分でできるだけがんばりたいから」が大半を占め、「現在は介護を必要とする状態にないから」、「家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから」という理由でした。108 ページ、問 10「あなたは今後、どのような介護を希望しますか」では、「介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」が 59.5%、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が 16.2%と自宅での生活が大半を占めていました。120 ページ、問 27「介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことは何ですか。」では、「家族の介護負担の軽減」、「対策やしきみをつくる」、「納得ができる公平な認定結果が出ること」、「介護保険の周知」、「施設の増設等の希望」がありました。121 ページ、問 29 の主な介護者については、配偶者の 31.4%と子どもの 38.6%が大半を占め、122 ページの主な介護者の年齢は、50 歳代が 26.2%、60 歳代が 21.9%、70 歳代が 29.6%となっています。次に施設サービス利用者に関する調査結果です。129 ページ、家族が本人と代わっての回答が 95.6%でした。130 ページ、問 2 の現在、入所されている施設では、特別擁護老人ホームが 49.4%、介護老人保健施設が 36.9%、入所されている年齢は、85 歳以上、介護度 4~5 の方が大半を占めています。今後の介護については、「現在の施設で生活を続けたい」は 59.4%と大半の方が利用しており、「できるだけ自宅で生活したい」が 22.5%となっている。自宅での介護が困難な理由は、「介護する人がいないから」が 61.1%、「心身の状態が在宅では生活するには難しいから」が 41.7%、「自宅での居室や設備が不十分だから」という理由でした。144 ページ、問 16「現在入所している施設のサービスに満足していますか」では、「満足している」、「ほぼ満足している」が 79.4%と概ね家族は満足しているという結果です。最後に介護保険サービス提供利用者に関する調査結果についてですが、法人の種類は、社会福祉法人、医療法人、株式会社・有限会社の順で続いています。152 ページ、問 3「現在、円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていること」は、「従事者の確保が難しい」、「事務作業が多い」、「利用者の確保が難しい」が大半を占めています。説明は以上です。

会 長・・・事務局の説明は終了しました。藤野委員がいらしたので自己紹介をお願いします。

藤 野・・・私は富津市内で「南山会」という社会福祉法人を運営している藤野です。施設としては、グループホームを運営している。また市内とは直接関係ないが、国土交通省の新しい制度として、サービス付き高齢者向け住宅を君津と木更津で 3 棟やっています。介護保険について、いろいろな関わりを持っているので、この会議で皆様の意見を伺いながら、勉強させていただき、諮問があれば、私の考えを述べさせていただきます。

会 長・・・本題に入ります、事務局をお願いしたいのだが、もう少しゆっくり説明して欲しい。それでは、事務局の説明について、皆様のご意見、ご質問等はないか。私からの質問だが、3 ページ、今回の回収率が 64.9%で、個々に調査対象がいる。一般的に介護を受けている人の回収状況の数値は納得できる。しかし、介護保険サービスの提供事業者用の回収状況は、行政側が介護の認定をして、介護施設として運営している事業所のはずなのに回答が 141 件、67.4%という数字は低い気がする。事務局の意見を伺いたい。

事務局・・・前回、平成 20 年度の調査時のサービス提供事業者の回収率は 65.9%で、今回は若

干、増えている。市内業者だけではなく、富津市の市民が利用している他の市町村の事業者までアンケート調査をしているため、協力が得られなかったことが回収率に繋がっていると考えられます。

会 長・・・前回、平成 20 年度の調査と比べると若干、増えているという回答であった。可能であれば、市外の事業者でも介護に携わる専門業務であるため、協力を願って欲しい。回収率が高くないと、調査の意味合いが違ってくる。介護を受ける側と介護する側の中で、介護を受けている事業所が、市内外問わずに回答するという基本的なスタンスの問題である。行政側も強く要請して、回収率を上げて欲しい。また、介護している施設側からも良い回答が得られることにより、今後の介護運営に参加して欲しい。他に何か意見、感想等ありませんか。今回、平成 24 年度からの計画策定に向けてということで、第 5 期計画を策定中であるため、この調査が大きく影響してくると思われませんが。

藤 野・・・市内で介護認定を受けている方の総数を教えて欲しい。

事務局・・・平成 22 年 3 月で、認定者数は 2,149 人です。

藤 野・・・市の人口の何パーセントぐらいですか。

事務局・・・約 4.5%です。

藤 野・・・サービス未利用者の 385 人というのは、他の市町村と比較してどうですか。

事務局・・・この数字は、他の市町村と同じぐらいです。

会 長・・・他にご意見、ご質問等ないか。私からもう 1 点、今回の報告書をもとに第 5 期の計画を策定中であるが、この調査をどのように生かすのかという方向性について伺いたい。

事務局・・・今回の事業計画については、介護保険だけではなく、高齢者の住民検診等の健康にも活かしていきたい。特に介護保険制度については、保険料の決定という大きな課題がある。それも皆様のご意見の中から取り入れていきたい。特に介護予防の方に重点を置いて、事業計画を策定していきたいと考えております。

会 長・・・介護予防に重点をおいた事業計画を策定していくという事務局からの回答であったが、他に何かご意見等ありませんか。

藤 野・・・高齢者は認定調査が来ると、はりきってしまい、出来ないものも出来るという回答することが多い。このアンケート調査では、概ね 80%ぐらいの人が認定調査の結果に満足しているようだ。実際の認定調査において、クレーム等で困っていることはないですか。

事務局・・・認定調査については、男性が張り切りすぎる傾向はあるが、富津市の認定調査では、家族の立会いを求めている。認定調査には、認定チェックシートを使っているため、調査員による大きなずれはない。本人が認知症等がある場合もあるので、調査が終了した後にご家族にどのような状況なのか、この結果で良いか確認してもらっています。

藤 野・・・介護保険料に関わってくるため、無理に介護度を上げることは難しいと思うが、行政として介護度を抑えていこうという方針ではないですか。

事務局・・・そのような方針ではありません。

会 長・・・意図的に抑えてはいないのかということですが。

事務局・・・あくまでも本人の状況を見て決めています。

会 長・・・他に何かご意見等ありませんか。何もないようなので、議題(2)については終了いたします。

(3) 指定介護予防支援業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について

○事務局より資料「指定介護予防支援業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について」に沿って説明

事務局・・・市内3事業所、近隣3事業所について審議していただきます。資料を見ていただきたいと思います。市内3事業所は、「オアシス慶寿居宅介護支援センター」、「介護の家ぶ・えもん居宅介護支援事業所」、「グッドライフ居宅介護支援事業所」です。市外は、近隣の3事業所、「NPO法人OSCウィル居宅介護支援事業所」、「居宅介護支援事業所心路」、「ニチイケアセンター君津」である。市内3事業所は休止だったものが再開しており、予防給付を受けたいという要望書の提出がありました。また、前回の運営協議会以降に指定を受けて活動している近隣3事業所については、介護給付と予防給付を行き来する軽度者を抱えているからです。この事業所として、資料に「CM数」というのは、ケアマネジャーの数であり、「定員」は抱えられるケース数、「指定日」は県の指定を受けた日です。また、資料の下にある表は、現在平成23年9月末時点での介護予防支援の委託数を示しています。1事例から38事例まで様々であるが、委託できる事業所には、その他に君津市の「セントケア君津」や「居宅介護支援あゆみ」、木更津市内の「南清苑」等が委託できる事業所としてご審議いただきます。以上です。

会長・・・事務局の説明が終わった。現行の19施設に市内事業所3と君津市の事業所3を加えて6ということで、6事業所について選定するという意味で良いですか。

事務局・・・そのとおりです。

会長・・・資料2ページ目の注意1~3の部分についての説明を事務局よりお願いします。

事務局・・・注1の委託数は23年度9月現在で、172件、委託率65%である。この委託というのは、地域包括支援センターでも介護予防支援でプランをつくっているという意味であり、残りの35%の95~96件は私たちが抱えています。注2のCM(介護支援専門員)数は、兼務者は兼務状況により、0.2~0.9のものがあり、結果を出しにくいいため、表に示したものの中で、兼務と記載されているものは、0.5として計算している。注3は、市内事業者数は15あり、4事業所は委託計画がないため、その内の3事業所を提出した。根拠法令は、地域包括支援センター設置等に関することの中の指定介護予防支援業務を委託できる居宅介護支援事業所の選定について、施行規則第140条66第4項で審議していただくために示しています。以上です。

会長・・・今の注意の説明では、6事業所のうち市内の事業所は、再委託と考えて良いのですか。

事務局・・・再委託ではなく、初めての委託になる。休止していたということと、前回の運営協議会以降に県の指定を受けた業者ということです。

会長・・・新規ではないということですか。

事務局・・・新規です。

会長・・・注意3の説明が理解できなかった。15事業所のうち、4事業所は委託がないと説明されたが、その内の3事業所を委託するという意味で良いのですか。

事務局・・・そのとおりです。

会長・・・了解しました。事務局の説明が終わりました。何かご意見等ありませんか。ニーズがあつてのことだが、何も意見等ないですか。なければこの6事業所について、居宅

介護支援事業所の選定ということで、皆様の認定をいただけたと考えてよろしいでしょうか。

(全員 異議なし)

意義なしということで、6事業所は選定されました。

それでは、議題(1)～(3)が全て終了しました。事務局より連絡事項等ありませんか。

事務局・・・介護保険料を選定するにあたり、国の介護報酬が記載されているが、12月上旬になると思われます。従って、次回の会議は、事業計画の素案ができた段階で、皆様に再度、ご審議いただくことになるため、11月末か12月上旬に介護報酬が間に合えば保険料は概算であるが提示できるため、国の動向を見極めて連絡したいと思います。

会長・・・次回は素案をある程度ご提示できるかということと、国の基準の話が出て11月末か12月初旬頃に会議を開催したい。日程が決まり次第ご連絡いたします。よろしくお願いいたします。

5. 閉 会

会長・・・これで平成23年度第1回富津市介護保険運営協議会会議を終了いたします。

以上、介護保険運営協議会の議事について、正確であることを証するために議事録を作成し議事録署名人はこれに署名捺印いたします。

平成23年11月 25日

議事録署名人

小 柴 貞 雄

議事録署名人

磯 部 健 一